

一度でも行えば計算に入れる。

**MR11.** このリスト Aにあるようなことを、デートをした人からされたことはありますか。

一度でも行為を受ければ計算に入れる。

**MR12.** リスト Bにあるようなことを、デートした人に、あなたがしたことはありますか。

一度でも行えば計算に入れる。

**MR13.** リスト Bにあるようなことを、デートした人からされたことはありますか。

一度でも行為を受ければ計算に入れる。

#### 子供 (CN)

このセクションでは、良い出来事も悪い出来事も含めて、回答者の生殖歴と子供についての質問をする。

**CN1.** あなたには、里子や連れ子、養子を除いて、血のつながったお子さんは何人いますか。亡くなったお子さんは含めないでください。

死亡した子供は計算に入れない。

**CN2.** 血はつながっていないが、連れ子や養子などで、あなたが5年以上育てたお子さんは何人いますか。亡くなったお子さんは含めないでください。

同居・別居にかかわらず、回答者が養育している子供すべてを指す。

#### 社会的ネットワーク (SN)

このセクションでは、回答者が友人や知り合いとの会う頻度・その関係の質・回答者にとって友人・知り合いを持つことの重要性などについて質問する。

**SN1.** 次のいくつかの質問はあなたの社会生活についてです。(もし\*SC3が'1'であれば: 夫/妻, もし \*SC3aが'1'であれば: 恋人(同棲者)は含まない) あなたは同居していない家族や親戚と、どのくらいの頻度で、電話で話したり、会ったりしますか。

回答者の配偶者が軍や懲役などで別居状態にある場合は配偶者を計算に入れる。

**SN2.** (もし\*SC3が‘1’であれば: 夫/妻, もし \*SC3aが‘1’であれば: 恋人(同棲者)は含まない) あなたは深刻な問題に直面したとき、同居していない家族や親戚にどのくらい頼れますか。

回答者が「友人による」と答えたら、「友人なら誰でも」と言う。

#### 子供時代の人口統計学的要因 (DE)

このセクションでは、生年月日・出身地・親や祖父祖母の出身地・話す言語・学歴・宗教などのような回答者と家族の背景についての質問をする。

**DE20.** あなたは学校に何年行きましたか。

教育の数を学校の年数に換算することも可(例: 回答者が単に高卒と答えた場合など)。しかし他の国で学校に行っていた場合など、その国で何年学校に通っていたのか探る必要がある。

#### 子供時代(CH)

このセクションでは回答者の児童期についての質問をする。ここでは回答者の親が与えた回答者の生活への影響や、成長期の親との関係を回答者がどう捉えていたかなどについて質問する。この際うつ病・恐怖症・アルコール・ドラッグなどについての親の履歴を聞き出すことも重要である。

**CH8.** あなたの子供時代のほとんどの期間、あなたの家庭で中心的だった男性は誰でしたか。

回答者が17歳以前に複数の男性のリーダーがいたと回答した場合、「ほとんど」という言葉を強調する。

**CH9.** あなたの子供時代、(あなたの父親/世帯内の男性のリーダー)は、収入を得るためにどのくらいの時間を仕事あるいは家業に費やしていましたか。

自営業・農家も給料のために働くと考える。

**CH11.** (あなたの父親/世帯内の男性のリーダー)が収入を得るためにやっていた主な仕事は何でしたか。(あなたの父親/世帯内の男性のリーダー)の仕事は何と呼ばれていましたか。

回答者の父親の主な仕事とは、その時最も多く時間を費やしていた仕事のことである。ISCO（国際標準職業分類）の主旨では、職業の分類を決める要因はスキルの質、仕事を行う上で必要な教育、仕事に対する責任などであり、労働者の教養は必ずしも必要ではない。

**CH12. (あなたの父親/世帯内の男性のリーダー) はどんな場所で働いていましたか。(あなたの父親/世帯内の男性のリーダー)は何を(作って/して)いましたか。**

この質問への回答も ISCO88 に沿ってコードされる。回答者の父親の会社名については聞かず、どのような種類の職場で働いていたのか、工場なのか商社なのか、そしてどのようなものを生産したり販売したりしていたのかについて質問する。

**CH13. あなたの子供時代のほとんどの間、あなたの家庭で中心的だった女性は誰でしたか。**

回答者が 17 歳以前に複数の女性のリーダーがいたと回答した場合、「ほとんど」という言葉を強調する。

**CH16. (あなたの母親/世帯内の母親のリーダー) が収入を得るためにしていた主な仕事は何でしたか。(あなたの母親/世帯内の母親のリーダー)の仕事は何と呼ばれていましたか。**

回答者の母親の主な仕事とは、その時最も多く時間を費やしていた仕事のことである。ISCO（国際標準職業分類）の主旨では、職業の分類を決める要因はスキルの質、仕事を行う上で必要な教育、仕事に対する責任などであり、労働者の教養は必ずしも必要ではない。

**CH17. (あなたの母親/世帯内の母親のリーダー) はどんな場所で働いていましたか。(あなたの母親/世帯内の母親のリーダー)は何を(作って/して)いましたか。**

この質問への回答も ISCO88 に沿ってコードされる。回答者の父親の会社名については聞かず、どのような種類の職場で働いていたのか、工場なのか商社なのか、そしてどのようなものを生産したり販売したりしていたのかについて質問する。

**CH38. あなたを育てるのに一番時間をかけてくれた女性はだれですか。**

複数いたと回答した場合、「一番」という言葉を強調する。

**CH52. これまでに、(その女性)に、アルコールや薬物の問題があったことがありますか。**

「障害」とは専門家の診断によらなくとも、回答者がそう思うのであれば何でも構わない。

**CH68.** あなたを育てるのに一番時間をかけてくれた男性は誰でしたか。

複数いたと回答した場合、「一番」という言葉を強調する。

**CH82.** これまでに、(その男性)に、アルコールや薬物の問題があったことがありますか。

「障害」とは専門家の診断によらなくとも、回答者がそう思うのであれば何でも構わない。

---

## 5.6 日本調査のみで使用されるセクション

ここで述べるセクションは、日本調査のみに追加されたセクションであり、CAPIの最後で質問される。

### ひきこもり(WD)

「ひきこもり」とは6ヶ月以上にわたり家族以外の者との交流をしない状態が続いていることを意味する。多くは自宅かアパートの自室にこもっている。「ひきこもり」が病的な状態かどうかはまだ不明であり、ここでは「ひきこもり」の状態がどれくらいあるのかを中立的に調べることを目的としている。

**WD1.** これまでに、仕事や学校にゆかず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヶ月以上自宅にひきこもっていた時期がありましたか。

家族と話すこと、また時々買い物などに外出することはかまわないとする。家族以外との対人交流がほとんどないことが重要であることを理解すること。

---

## 5.7 WMH 調査票のその他のセクション

以下のセクションは、WMH日本調査の共通項目ではない。しかし地域や調査によっては使用される場合もあるため、ここに説明を加えておく。

### 神経衰弱症(N)

神経衰弱症は近年「慢性疲労症候群」または CFS として知られる。このセクションでは、数ヶ月以上継続する医学的に説明のつかない慢性の症状発現についての質問をする。正確に判断するためには、これらの症状発現が他の身体的障害を伴い、日常生活に重大な影響を与える点に注意する。これらの症状の発現を訴える人には、その頻度・程度・生活に与える影響について、また専門家による治療などを受けているのであればその内容について質問する。

(特定の QxQ なし)

#### たばこ (TB)

このセクションでは、日常における喫煙とそれに対する身体的依存についての質問をする。喫煙への依存を報告した回答者には、その生活への影響について聞き、またその障害に対する専門的治療について質問する。このセクションでの質問は、ニコチン中毒の診断を企図した精神医学的診断の一部である。

(特定の QxQ なし)

#### 摂食障害 (EA)

このセクションでは、回答者の体重と食行動に関する障害について質問する。ここで対象とする障害は拒食症と過食（大食）症である。拒食症は著しい食行動の障害が特徴である。本質的な特徴として、年齢・身長に相応な最低体重の維持を拒否し、明白な栄養失調状態にもかかわらず体重増加を非常に恐れ、歪んだボディ・イメージを持ち、女性では月経停止がある。体重を削減しようとする行動には食物摂取量の削減だけでなく、精力的また長期にわたるエクササイズ・自らの嘔吐・下剤や利尿剤の服用などがある。

過食（大食）症は反復性の食欲異常が特徴である。短時間に大量の食物を摂取したのにもかかわらず、下剤や利尿剤の服用・自らの嘔吐・過食後の断食または極端なダイエットなどによって通常の体重やむしろそれよりも少ない体重を維持する。これらの患者は自己嫌悪を感じているがなかなか制御することができない。

**EA1.** ここからの部分では、食べること、あるいは体重に関する問題についてうかがいます。これまでに、太りすぎや肥満について、かなり心配した、あるいはそれらを強く怖れたことがありますか。

この質問は回答者の実際の体重に関係のない自己イメージに関するものである。痩せ過ぎ/細過ぎや筋肉がないことなどに関する心配は除外する。尻が太っているなど、部分的な体重過多についての懸念を抱いている R もいるはずである。

**EA2.** 12歳よりあとで、やせようと思ってやせた時のうち、最もやせていた時の体重はどのくらいでしたか。

「やせようと思ってやせた」とは、病気などによる体重削減は除外するということである。

**EA6.** 体重がxだった時、体重が増えるかもしれないことをとても心配しましたか。

この質問は、回答者が痩せているにもかかわらず、また実際に体重が増加していたかどうかにかかわらず、体重増加を恐れていたかを聞く質問である。

**EA9.** 体重がxだった頃、生理の止まった期間が3ヶ月以上続いたことが、これまでにありますか。

回答者の体重が減った時や低体重の時、月経停止が起こった可能性は高い。これ以外の時期の月経停止については対象としない。

#### 月経前症候群 (PR)

このセクションでは、女性のみを対象に、月経周期に関する身体的・精神的障害について質問する。これらを正確に判断するために、これらの障害が日常生活に重大な影響を与える点に注意する。これらの障害を訴える女性には、その頻度・程度・生活に与える影響について質問する。

**PR5a.** その手術を受けたのは、あなたが何歳のときですか。

複数回の手術を受けていれば、初回の手術について記録する。

**PR6.** まだ生理は続いていますか、一時的に止まっていますか、あるいは永遠に止まっていますか。

停止していても回答者が永久的に停止しているのかわからない場合、一時的な停止としてコードする。

**PR13.** 多くの女性は生理前の一週間に気分がひどく悪くなり、生理が始まると2, 3日で普通の状態に戻るということに気づきます。この気分の変化は、たいてい、悲しくなったり、ゆううつだったり、神経過敏になったり、不安になったり、緊張したり、イライラしたりするといったものです。今までに、生理の一週間前に気分がひどく悪くなったことはありますか。

回答者が月経期の初日（初めの数日）にそのような状態になると答えた場合、「はい」とする。

**PR14.** 今までに、これらの気分の変化が頻繁でひどかった時期に、生理前の一週間に気分がひどく悪くなったのは12ヶ月のうち約何ヶ月ありましたか。

回答者によっては毎月月経期がないと言う場合がある。その場合でも構わずに質問の通りに回答させる。

**PR16.** 気分が変化した典型的な月の生理前の一週間に、いつもに比べて気分がひどく悪くなったことはその期間のいつもですか、ほとんどいつもですか、ときどきですか、少ししかありませんか。

この質問は、回答者が自分の気分の変化によって月経期前週においてどのくらい影響があったのかを問う質問である

### 強迫性障害(O)

このセクションでは、2週間以上続く制御不可能な強迫観念や強迫行動の症状発現についての質問をする。これらを正確に判断するために、これらの症状発現が少なくとも毎日1時間継続的に起こり、異常であると認知される点に注意する。これらの症状発現を訴える人には、その頻度・程度・生活に与える影響について、また専門家による治療などを受けているのであればその内容について質問する。

ここでの質問は、強迫性障害（OCD）の診断を企図した精神医学的診断の一部である。

**O1a.** ごみや細菌、汚染について繰り返し心配したこと、あるいは繰り返し洗ったり、掃除したり、消毒したりせずにはいられないと感じたことはありますか。（これまで、このような経験のどれかがありましたか。）

(O1a-i) 「繰り返し」という語はここで多く使われる。この語はO1の回答について、2週間以上強迫観念や強迫観念が繰り返し起こることを指している。一度きりの症状は「いいえ」と入力する。

**O1h.** あなた、あるいはあなたと親しい誰かが、症状のまだ現れていない恐ろしい病気になったという心配が繰り返し起きましたか。

根拠のない非現実的な懸念についての質問である。回答者が、客観的危険（例：チェルノブイリの原発事故後、キエフの市民の間に広まったガンへの懸念）に関する懸念を持った時期があったと回答した場合は「いいえ」とする。同様に、自覚症状がないうちに医師から病気を宣告されたような場合も「いいえ」とする。

07. 嫌な考えやイメージ、衝動が心に浮かんだまますごした時間は、普通その（時間）のうちどれくらいですか？
08. 繰り返してしまう行動や心の中の作業に費やした時間は、普通その（時間）のうちどれくらいですか。

これらの質問は回答者に誤解を生じさせやすいかもしれない。しかしどのくらいの時間、回答者が強迫観念（不快な考え）を抱き、強迫観念に基づく行動（強迫行為）を起こしているのかを調べる必要がある。これらの障害をもつ人々は、ほとんどすべての時間を不快な考えに費やし、考えを制御する行為にはほとんど時間を費やさない。それとは対照的に、懸念しているものが起こらないように、そのほとんどの時間を強迫行為に費やし、結果的に考えに陥らないようにするものもある。これは非常に重要な区別であり、回答者が混乱しているようであれば質問をよく説明すること。

010. 次からは考え、イメージ、そして衝動についてお聞きします。これまでにこれらのことを度の過ぎたものや理にかなっていないものだと思った頻度はどれくらいですか。

ここから始まる質問群は、考え・イメージ・衝動についてのものである。よって考え・イメージ・衝動に伴う行為についての質問ではない。

022. 次に、行わずにはいられないと感じて繰り返してしまう行動や心の中の作業について、お聞きします。これまでに、これらの行動が度の過ぎたものや理にかなっていないものだと思ったことはありますか。

ここから始まる質問群は、強迫行為についてのものである。よってこれらの行為の原因となる考え・イメージ・衝動についての質問ではない。

### 精神病 (PS)

このセクションでは、精神病の症状である6つの日常的経験についての質問をする。経験には幻覚・幻聴・多くの妄想性痴呆などが含まれる。本調査では詳細な分析は必要ないので、このセクションは非常に短い。

- PS1c. 3番目には、2つのことについてうかがいます。1つは何らかの不思議な力がいろいろ奇妙な考えを吹き込んでいると思うことです。そういう考えは明確にあなた自身の考えではなく、X線やレーザー光線、あるいは他の方法を使ってあなたの頭に直接入り込んできます。もう1つはあなた自身の考えが、何らかの奇妙な力で心から盗まれてしまうと信じることで。これまでに、こうしたマインドコントロールのような経験のどちらかがありましたか。



例えば宇宙人や未来の科学によれば、このようなことは実際に起こることであろうと多くの方は信じている。ここでは、このようなことが実際起こるかどうかについては個人の経験と区別する必要がある。回答者が、このようなことが起こり得ると思う時があると答え、しかし実際に起こったことがない場合は「いいえ」と入力する。

**PS1d.** 4番目に、ふつうはないことですが、レーザー光線やその他の方法を使って、奇妙な力があなたの心を支配し、自分ではするつもりがなかったことをあなたにさせていたと感ずることについてです。これまでに、あなたの心が、何か得体の知れない力にのっとられたように感じたことがありましたか。

「私の夫は非常に傲慢で、いつも私の考えを支配しようとしています」など隠喩的な回答をする場合、「いいえ」と入力する。

**PS1f.** 6番目に、あなたの家族や友人は信じていないが、あなたに危害を加えようとしたり、人にあなたの跡をつけさせたりという、不正な陰謀が実際にあると思ったことが、これまでにありましたか。

回答者が実際の陰謀についてもっともらしい話をした場合、「いいえ」と入力する。話にもっともらしさを感じられない場合、「はい」と入力する。

**PS9.** これまでに、(これらの問題)のために入院しましたか。

入院とは病院に一晩入院することを意味する。

#### 病的賭博 (GM)

このセクションでは、ギャンブルやそれに伴う障害についての質問をする。まず R に病的賭博の経験があるかを聞き、またギャンブルの種類・それに伴う障害・ギャンブルをする動機について質問する。ここでの対象は障害を伴うギャンブラーであり、単に一時的にギャンブルをしたというような回答者は除外される。障害を持つギャンブラーはその障害が始まった年齢とこれまでの継続性、障害に対する治療を行ったかなどについて質問される。

(特定の QxQ なし)

#### 注意欠陥/多動性障害(AD)

注意欠陥過活動性障害 (ADHD)とは、児童期に他の児童と比較して頻繁・顕著に起こる持続性の注意力散漫または活発性過度などの症状がある障害である。子供は普通でも注意力散漫で活発性過度の傾向があるということに注意する。この障害では年齢相応という観点から明らかに異常であるという点が特徴となる。45歳以下の回答者がこのセクションで詳細を質問される。

このセクションでは注意欠陥障害と多動性障害は分けて分析される。回答者は最終的にどちらか一方または両方の障害を持っていたと診断される。これら二つの障害が同時期に起こっていれば「ADHD」とされる。

**AD1b. 細かいことに注意することが困難なことがよくありましたか。あるいはうっかりミスをたくさんしましたか。**

重要でないことで注意力散漫であったりミスを犯したりした場合でも「はい」とする。

**AD1f. 近くで何かが起きていると、その時やっていることに集中できなかったですか。**

何かとは他人の会話や近くを静かに歩いている人などによる些細な障害のことである。

**AD1g. 集中力をたくさん必要とすることが嫌いだったり、避けたり、あるいは後回しにしましたか。**

例えば、宿題・テレビや映画の鑑賞・芸術の課題・手紙を書くなど。

**AD30a. 例えば、静かにするよう言われた後でさえ、何かに登ったり走り回ったりするように活発になってはいけない時でさえ、しばしばとても活発になったことはありますか。**

このような状態がしばしば6ヶ月以上続いたかどうか聞いてみる。

**AD30c. 普段ほとんど休むことなく、「絶えず忙しく」していたことがよくありましたか。**

これらの障害をもつ子供はほとんど制限なく過度の活動状態となる。それはまるで「モーター」で動いているかのようなものであるといわれるほどである。

**AD30f. 食事、学校、あるいは礼拝の場などのように、立ち上がってはいけない時に、いすから立ち上がってしまうことがしばしばありましたか。**

このような状態がしばしば6ヶ月以上続いたかどうか聞いてみる。

**AD30i. 人の邪魔をしたり、断りもなく他人の会話に出し抜けに口を挟んだりすることがしばしばありましたか。**

出し抜けにという語を強調する。歓迎される場合は含まない（行儀よく部屋に入り会話に加わるなど）

#### **反抗挑戦性障害 (OD)**

反抗挑戦性障害とは、大人や友人に対して反復性のある挑戦的・反抗的・敵対的な行動を特徴とする障害である。若者の多くにはこのような反抗の傾向がある。この障害では年齢相応という観点から明らかに異常であるという点が特徴となる。45歳以下の回答者がこのセクションで詳細を質問される。

**OD1d. 両親、先生、上司などの指示を拒否することがしばしばありましたか。**

指示をはぐらかしたり、なかなか実行に移さないなどの場合も「はい」とする。

**OD1f. 自分が利用されている、不当な扱いを受けていると頻繁に感じることはありませんか。**

回答者が実際に優位に立つ者であれば「いいえ」とする。回答者が理由なくそのように感じていたのであれば「はい」とする。

**OD1j. あなたへの扱いに対してすぐに怒りましたか。**

回答者が実際に不当な扱いを受けたのであれば「いいえ」とする。回答者が理由なくそのように行動していたのであれば「はい」とする

**OD1k. 他人からイライラさせられやすかったですか。**

幼い兄弟などや先生や親に小言を言われて腹が立ったという場合は「いいえ」とする。もっと普遍的な意味合いで他人に腹が立った場合をいう。

#### **行為障害 (CD)**

行為障害とは、反復的に他人の人権を無視したり年齢相応の社会的規範やルールを破ったりする行為を伴う障害である。このセクションでは、回答者用小冊子にある二つのグループの質問をする。45歳以下の回答者がこのセクションで詳細を質問される。

**CD32.** これまで、子供時代や10代の時に、自分の行動のために、  
停学になった、あるいは退学させられたことはありますか。

正式処分ではないが、教室から追い出されたりすることも含まれる。

**CD39b1-2.** これらの施設にいた期間を合計すると、全部でどのくらいになりますか。

「合計で」とは別々の期間すべてを合計するということ。

#### **分離不安障害(SA)**

分離不安障害とは、家から離れることや愛着のある人物から離れることに異常な不安を覚える障害を特徴とする。子供の多くは親やその他の愛着のある人物からの隔離を不安に思うものである。年齢の高い子供のほとんどがキャンプや親戚などの家に泊まりに行くとホームシックにかかるものである。分離不安障害の症状は、成長段階と合わない異常な不安などが特徴となる。このセクションでは、児童期分離不安と成人期分離不安の両方を分析する。

**SA1b.** その人が事故で大怪我をするかもしれないとか、彼らに何か恐ろしいことが起こるのではないかと恐れたりすることがしばしばありましたか。

特定の人実際に傷害を受けたりしていたことがあり心配しているのであれば、「いいえ」とする。もし理由なく心配していたのであれば「はい」とする。

**SA1h.** その人が外出したり、あなたがその人から離れなければならぬことを聞いたときに、腹痛や頭痛を起こすことがよくありましたか。

ここでは実際に起こった症状を聞いている。回答者がそれらの人（親など）を引き止めるために胃痛や頭痛といった嘘を言ったのであれば、「いいえ」とする。

**SA1i.** 5歳以降で、夜その人が側にいないと寝たくないと感じることが1ヶ月以上続いたことがありましたか。

「側に」とは同じ部屋にという意味。

#### **不安と不幸 (WU)**

この短いセクションでは、1957年と1976年にアメリカ人の心の健康に関する調査「Americans View Their Mental Health Surveys」において聞かれた質問群が再び聞かれる。ここでの質問では回答者の生活における不安と不幸の頻度と原因について聞かれる。不安と不幸の頻度と原因の半世紀を越えた時代的变化を研究するため、前回の調査と全く同様の質問となっている。

(特定の QxQ なし)

#### **家族の負担(FB)**

このセクションでは、近親者が病気になったりその病気が回答者の日常生活に与えた影響などについて質問する。まずは回答者の近親関係について尋ね、それらの近親者の病気について質問し、その病気による回答者への負担を聞く。

#### **FB2Intr1. あなたの両親、兄弟姉妹、お子さんのうちで今ご健在なのは合計何人ですか。**

再婚した親なども計算に入れる。よって、回答者が二人以上と回答する可能性もある。義理の親は計算には入れない。

#### **FB6al. どの家族や親戚に問題がありますか。**

元の配偶者などは計算に入れない。回答カテゴリーですべての該当項目にチェックをする。配偶者/同居者カテゴリー以外の各回答カテゴリーには複数の回答の可能性もある。カテゴリー内の者が一人以上でも病気になった場合、そのカテゴリーをチェックする。カテゴリーでは一人でも複数でも同様に考える。

#### **FB6c. ポケや痴呆（ちほう）など、ひどい記憶の障害はどうですか。**

アルツハイマーなど。

#### **FB6f. その他に、何か重傷で、慢性的な身体の病気はどうですか。**

心臓病・喘息・ガンなど。

#### **FB15a. (彼/彼女/彼ら)の健康問題のために、お金を支払ったり、あるいはあなたの収入が減ることなどを含めて、あなたに経済的な負担がありますか。**

前の質問で言及した通り、仕事が出来ないための減収と医療費の両方を合算する。

**過去に関する認識**

このセクションは、日本調査では使用しない。

(特定の QxQ なし)

## 5.8 認知機能検査

このセクションでは認知機能に関する試験を行う。面接する上で回答者の理解力や記憶力に懸念を感じる場合（つまり、回答者が質問を理解出来ない、または回答できないのではないかと考えられる場合）、面接のはじめか途中で認知機能検査を行うと良い。このセクションは、回答者の理解・記憶力の基本レベルを評価する質問をする点で他のセクションとは大きく異なっている。一ヶ月間や週のある一日について思い出してもらおうような質問がいくつかある。単語をすばやく思い出させるような少々難易度の高い質問もある。これらの回答には「正解」か「不正解」によって点数をつける。回答が正解なのか不正解なのか判断に困る場合は、メモを残しておく。このセクションでは「わからない」または「回答拒否」はいずれも「不正解」として扱われる。「わからない」と回答した場合、それ以上たずねないこと。

このセクションを実施する際は、DM5のリストを最大3回まで見ても良い。以下の二つの基準に沿って、調査を続けるかどうか決める。

1：回答者が5つ以上の単語を覚え、またDM1-4で6~7つの質問に正解した場合、面接調査（CAPI）に戻る。

2：それ以外の場合は、回答者に礼を言って面接を終了し、回答者には謝礼を渡す。

行った認知機能検査の紙はすべて調査センターに研究所に提出すること。

### DM2c. 今年は何年ですか。

DM2aで月を答えるときに年も答えたらDM2cは質問せずに「正解」とする。

### DM2d. 今の季節は何ですか。

中間にある月はどちらの季節としても構わない。

冬	12月・1月・2月・3月
春	3月・4月・5月・6月
夏	6月・7月・8月・9月
秋	9月・10月・11月・12月

**DM5.** これから 10 個の言葉を読み上げます。後でそれをできるだけ多く思い出してください。どんな頭のいい人でも全部の言葉を思い出すのは難しいように、意図的にリストをながくしてありますので、たいていの方は数個しか思い出せないと思います。ではリストを読み上げますので注意して聞いていてください。私が読み終わったら、順番はどうでも構いませんから、できるだけ多くの言葉を思い出して、言ってください。

各単語間には間をおいてゆっくり読み上げること。回答者が正確に思い出して答えた単語を記録する。この時順番を無視したり重複して単語を答えるので注意する。最初に読み上げ、回答させてからもう一度同様に繰り返す。



## 第6章 繊細な質問

### 概要

本面接調査では、回答者にとって話しづらい、または恥ずかしい質問することがある。以下のステップは回答者・面接員がこれら繊細な質問のデータを収集する際に役立つだろう。

### 面接の雰囲気を作る

回答者と最初に顔を合わせる時は、真剣でプロらしい態度を見せるべきである。回答者と親しい関係を構築するに従って、回答者はあなたを友人・仲間として、また彼らが好ましくない異常な行為を報告した時はそれを批判し咎める母親・父親的存在のように考えるようになる。回答者と面接調査においては、無批判・無差別・プロらしい（しかし人間味のある）アプローチを心がけること。

### 面接員の心理的許容範囲を確立・維持する

「許容範囲」とは、面接員が質問・返答したり、回答者の回答を聞いたりする上で快適に、また回答者の答えに影響を与えずに面接を進められる気持ちの上での範囲のことである。回答者の質問と懸念に対応するため、面接員の許容範囲は回答者よりも大きくあるべきである。デリケートな言葉やフレーズをさりげなく口にできるように慣れるように努力すること。それによって精神障害、薬物濫用、児童虐待などの扱いの難しい話題に直面した時でも、プロらしく冷静でいられるようになる。

面接員の落ち着きがないと回答者はすぐに気づき、その後のやりとりが困難となる。面接調査員はこの重要な点をマスターできるようにする。面接員が許容範囲を広くを維持し、回答者の質問にプロらしく返答することにより、回答者は面接をより快適に受けられるようになる。

### 繊細な質問

繊細な質問は、病院の医師や看護婦のようにはっきり堂々と読み上げること。そして回答者が堂々と回答できるように導くこと。

恥ずかしい質問や繊細な質問は、他の質問と同じ言い方で尋ねる。たいていの人はいこれらの質問を簡単に、気軽に、正直に答えてくれる。それは一つに回答者が重要な科学的調査のためであると確信していることから、そしてもう一つは面接員がこれらの質問を他の質問同様、理知的・無批判的な態度で行うからである。大切なことは、回答者の答えを拒否する態度を見せたり、あまりに好奇心丸出しな態度をとらないように気をつけることである。

専門的な言葉を使用する。回答者が質問に答える時にありのままの言葉を使ったら、それらの言葉をそのまま使わないこと。「性交」などのような専門的な言葉を用い、最終的には回答者にもこれらの専門的な言葉を使わせるようにする。

笑ったり冗談を言ったり冷やかしたりなどのように、打ち解け過ぎたムードにならないようにする。笑い話をしに来たのではないということや沈黙をうまく使って伝える。面接員のイメージはあくまで真面目な調査を行う真面目な専門家なのである。

同時に少し神経質な回答者の軽い言動と、単なる下品な冗談などは区別する。

面接員の個人的な言動や経験などを自ら話さない。友情ではないが、親しい関係を構築するようにする。

面接中に回答者が泣いたりなど取り乱しても、驚いたり笑ったり、泣いたりしないこと。医師のようなプロらしさを失わずに面接を続行し、再び回答者が質問に集中できるようにする。回答者が興奮したら短い休憩を取らせ、ティッシュペーパーや水などを差し出す。しばらく待って回答者を落ち着かせ、その後面接を再開する。回答者があまりにも興奮し面接続行が不可能な場合は、次の面接を約束してその日の面接を終了する。

#### プライバシーの確立と維持

面接を行う上でのプライバシーの確立は公平なデータ収集における重要な要素といえる。面接というデリケートな性質上、面接の際は回答者と面接者二人きりになれる環境がベストである。面接時には面接の邪魔となるものを排除し、また面接への回答が他の家族などに聞かれないような場所が望ましい。こうしたことで、プロらしい面接の雰囲気を作り出すことが可能となる。

可能であれば部屋には面接員と回答者の二人きりという状況が望ましい。第三者がいる場合、その場を遠慮してもらうように頼む。しかし、もし不可能であるならば、第三者にその場に残ってもらっても構わない。

#### 危害行為の報告

回答者による自他への危害行為は必ず報告すること。これまでにそのようなケースはめったに起こったことがないが、もし回答者の言動に危険を感じたら、記録をとって面接の後に上司に報告する。状況が危険な場合、すぐに面接をやめ上司に連絡する。適切な担当者がその後の対策について考える。

## 第7章 その他の面接員の責務

---

### 7.1 データ収集の前に

調査において最も重要なことは準備である。本マニュアルをすべて読み、調査に必要な知識とプロセスをよく理解すること。資料・書類はきちんとまとめ、必要なものはすべて即座に手にすることが出来るようにしておく。

データ収集の期間は非常に長く感じられるが（面接調査は2002年11月から2003年3月まで実施）、トレーニング終了次第すぐに調査活動を開始すること。実際に活動することでトレーニング中に学んだコンセプトやプロセスが確実に自分のものになる。

#### トレーニング内容の復習

トレーニングの時、ノートに重要点を記入する。トレーニング中の質問などの中には本マニュアルで言及していないものもある。そのような場合、マニュアル以外にも記録したノートの内容を参考にすることが大切である。面接調査の手順・技術的な説明・理解などについて多数の情報が得られるはずである。よく復習をすることにより、調査活動をすみやかに開始出来るようになる。

担当者が調査活動に必要な資格を有すると判断するまでは、調査活動を開始することはできない。

#### プレスリリース

調査をメディアに知らせることによって大きな注目を集めることが可能となる。ほとんどの場合、調査センターから地元の新聞社にプレスリリースを直接持って行くことになる。

編集者や記者に調査について質問されたり、詳細な情報が必要である場合は、調査パンフレットのコピーを渡す。パンフレットに書かれていない情報を答えないこと。それ以上の情報についての回答は断ること。メディアへの情報は常に首尾一貫したものである必要があり、必要な情報は調査センターから供給する。また面接員は調査する人々や場所の情報の守秘義務があるということを忘れないこと。

---

### 7.2 データ収集の際

#### 安全のために

調査員にとって、調査活動中の面接員の安全は常に最優先である。

面接員は常に自ら判断を下さなければならない。調査前も調査中も常に自分の担当地区について熟知している必要がある。

場所にかかわらず、常に周囲の状況に注意を向ける。ここ数年、危険な状況となることはほとんどないが、いずれにしても油断しないこと。

日中の明るいうちに外出するようにし、周囲の状況や自宅と調査世帯との道順を良く知っておくこと。